

令和6年度総合防災訓練大綱の概要

- ・ 訓練を企画・実施する際の基本方針、国の訓練事項、地方公共団体の訓練への留意点等を示すもの
- ・ 継続的・計画的に取り組むべき事項に加え、既往災害からの教訓や社会状況の変化等を反映
- ・ 年度末から年度当初の時期に、中央防災会議で決定するもの

基本的な考え方

能登半島地震等の既往災害を踏まえた災害対応力向上

- 受援計画等に基づく応援職員の受け入れに関する訓練の実施
- 地域住民や地元企業の支援活動をメニューに含めた訓練の実施
- 避難所の生活環境向上（段ボールベッド・パーティションの設置等）や、在宅・車中泊避難者等の状況把握、さらに地方公共団体間連携による二次避難先の運営に関する訓練の実施
- 物資の調達・輸送等の訓練の実施
- 災害時に孤立することが想定される地区への対応訓練の実施
- NPO、ボランティア等、多様な主体と連携した訓練の実施
- 男女共同参画及び要配慮者の視点に立った訓練の実施



車中泊避難者等の状況把握訓練



孤立地域を想定した訓練

より実践的、効果的な訓練

- 発生時間帯や避難方法等について、より実践的かつ起こり得る最悪事態の想定を踏まえた訓練の実施
- 関係者が連携して、被災者に対するきめ細やかな支援を継続的に実施する、災害ケースマネジメント訓練の実施



地域住民参加の夜間避難訓練



災害ケースマネジメント訓練

デジタル等の新技術の活用

- デジタル等の新技術を活用した災害対応に備えた、実践的な操作訓練の実施
- スマホアプリ等のデジタルツールを活用した訓練の実施



避難支援情報を表示するスマホアプリを活用した避難訓練